

送迎保育ステーション事業

1 背景・目的

- ・保育ニーズの高いエリア（駅周辺など）には、まとまった土地がないなどの理由から、保育所等の整備が進みにくい（特に、3歳以上の子どもが十分に遊べる園庭を確保した施設の整備が難しい）
⇒保育所等だけでなく、19人以下で、0~2歳の定員を設定する小規模保育事業の整備も進めている【小規模保育事業の課題】

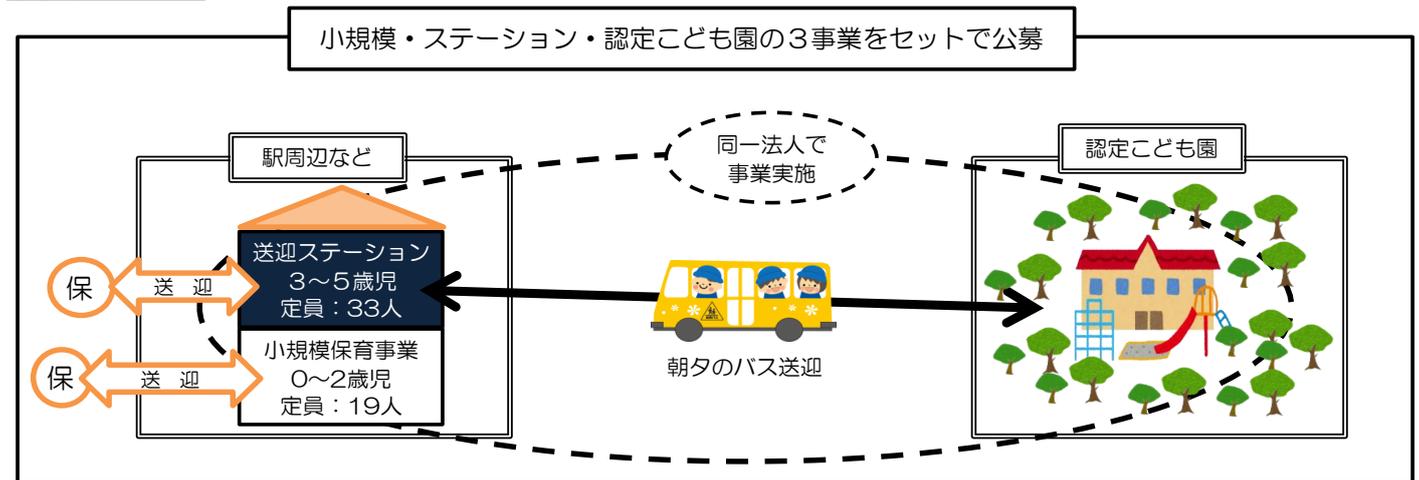
- ・卒園後の行先に不安…（市としても、卒園後（3歳~）の受け皿整備に課題）
- ・きょうだいがいる場合には2か所送迎が必要になる可能性が高い…
- ・自然の多い環境、広々とした園庭で子どもを保育してほしいが、送迎が難しい…

小規模保育事業に、送迎保育ステーション（以下「ステーション」という。）機能を付加！

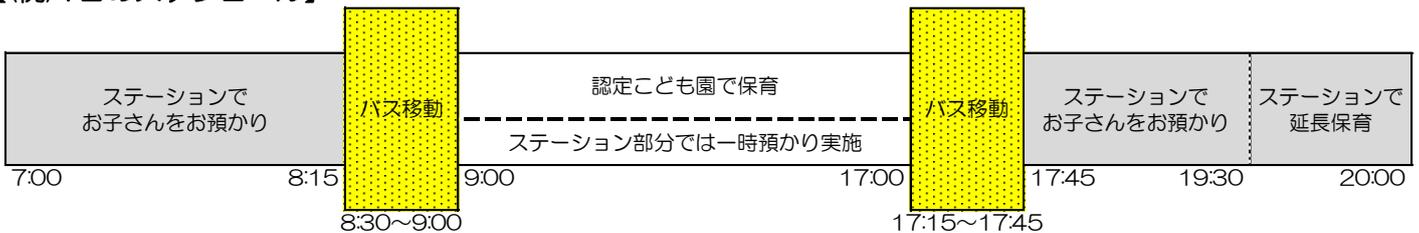
- ・・・待機児童解消 及び 利用者満足度の向上に寄与

2 事業概要

○事業イメージ



【(例)1日のスケジュール】



○送迎ステーションの事業スキーム

- 事業実施者：公募により選定された民間事業者
- 利用対象者：3~5歳（保育を必要とする子どもに限る）
- 実施場所：駅周辺などの保育ニーズの高い場所に設置する小規模保育事業に併設
- 受入施設：ステーション及び小規模保育事業と同時に公募する認定こども園
- その他：日中に空きスペースとなるステーション部分では一時預かり事業を実施

3 必要経費

【開設にかかる経費（イニシャル）】

- <令和2年度>
 - ステーション改修費用：7,267千円（市：3,634千円・国：3,633千円）
- <令和3年度>
 - バス購入費：13,000千円（市：6,500千円・国：6,500千円）

【運営にかかる経費（ランニング）】

- <令和4年度以降>
 - 保育士等雇上費：5,000千円/年（市：2,500千円/年・国：2,500千円/年）
 - 運転手雇上費：5,000千円/年（市：2,500千円/年・国：2,500千円/年）
 - 事業費：3,000千円/年（市：1,500千円/年・国：1,500千円/年）